



# オーライ！ ニッポンニュース

「ようこそ！農村へ」キャンペーン、GT 商品コンテスト優秀賞 NPO いすみライフスタイル研究所の体験ツアーに同行取材しました。平成 22 年 11 月 10 日



## GT 商品コンテスト

### 2010 優秀賞ツアー実施！

農山村地域をフィールドとした旅行商品の企画提案を公募し、優れた事例を選定・表彰する「ようこそ！農村へ」キャンペーン「GT 商品コンテスト 2010」の優秀賞は 10 月 28 日に発表されました。5 つの優秀賞の一つ、NPO 法人いすみライフスタイル研究所（千葉県いすみ市）と近畿日本ツーリスト株式会社（東京都）が提案した「いすみツーリズム 2010 房総いすみで美と健康と癒し体験ツアー」が 22 年 10 月 23 日（土）、24 日（日）1 泊 2 日で実施され、オーライ！ニッポン会議はツアーの様子を同行取材しました。

千葉県いすみ市は、房総半島の太平洋側に面した人口 4 万人の漁業と農業の盛んな地域です。2005 年 12 月 5 日に夷隅郡夷隅町、大原町、岬町の 3 町が合併していすみ市となりました。農業では、献上米の歴史をもつ「いすみ米」と旧岬町の梨、漁業では、日本一の漁獲量（漁協別）を誇る伊勢海老が有名です。

アクセスは、東日本旅客鉄道の外房線を使い、千葉駅から市の中心の大原駅までは、各駅で所要時間 65 分程度、特急で蘇我駅から 40 分、東京駅からは 1 時間 10 分です。東京へ通える農山漁村として電車による通勤者も存在し、この立地条件からいすみを気に入った移住者も多く、最近、移住した人達による新たなライフスタイルの情報発信が地域活性化の大きなエネルギーとなっています。

今回、実施された体験ツアーは、いすみ市への移住者を増やす目的に、いすみに移住した女性が中心になって企画されたツアーです。農山漁村を新たな生活の場所として移住したい女性を対象として、農林漁業のみならず、移住者が生き生きと生活しているライフスタイル自身を体験・見聞してもらい、いすみの魅力をたっぷり理解してもらおうという企画です。また、最近の旅行の新しい形として注目されている現地集合現地解散型、いわゆる着地型旅行商品として販売され、田舎暮らしの雑誌、WEB サイト、クチコミ等で知った女性 8 名が本ツアーに参加しました。



ツアーの出発地 JR 外房線 長者町駅

いすみ体験ツアーは、長者町駅からスタートしました。貸切のワンボックスタクシー 2 台に乗車した 8 名の参加者と本ツアーのガイドを務める NPO いすみライフスタイル研究所等の女性 4 名男性 3 名の計 7 名が同乗。参加者は田舎暮らしを想定して具体的な情報を求めて参加した人、いす

み市へ移住した人々のライフスタイル情報に接し農村体験を楽しみたい人の 20 代 3 人、30 代 3 人、40 代の 2 名。まずはいすみ市岬庁舎へ向かいます。



いすみ市岬庁舎内でオリエンテーションを行う NPO いすみライフスタイル研究所 君塚理事長

NPO いすみライフスタイル研究所は、通称「いう研」と呼びます。市内の若手工商業者が中心となって開催した「いすみ市を考える勉強会」に参加したことをきっかけに、いすみ市を中心に地域住民やまちづくりを推進する各種団体と連携して地域資源である自然環境の保全などの公益増進を目的に 2008 年度に設立され、次世代の「いなか生活」を提案しつつ、行政と手を携え移住・定住促進をキーワードにまちづくりを推進しています。

#### <商品の概要>

目的エリア／千葉県いすみ市 日程／1泊2日  
実施日／平成22年10月23日(土)~24日(日)  
販売価格／15,000円 募集人員8名 出発地／JR外房線 長者町駅

旅行の主な対象者: おおむね 20 代~50 代(独身・既婚問わず)、首都圏・関東に在住、美容と健康などにも関心があり、自然に恵まれた環境、海辺のスローライフ、田舎暮らし、農的ライフに関心のある女性。都会の次のステージとして田舎を考えている独身女性、結婚生活や子育てを田舎で実現したい既婚女性、仕事や子育てが一段落して新しい人生を田舎で送りたい女性



太東岬燈台で、地元産の食材のヘルシーなお弁当をいただく

オリエンテーションの後は、いすみ市内を視察です。眼下に広がる太平洋。第二次世界大戦時には、アメリカの B29 が首都圏を空襲にこの上空を飛来したとか。太平洋の荒波の侵食により、江戸時

代から 100m は陸地が後退しています。ここで地元産の食材を使ったヘルシーなお弁当をいただきました。

#### パワーポイントとして有名な玉崎神社



続いて、物部氏直系の子孫が神職を務める、1200年の

歴史を誇る玉崎神社へ。春分・秋分の日に太陽が通るレイラインの入口にあたっていることから、パワースポットとして注目されています。最近、神社仏閣などが女性の旅行先として話題になっていますが、今も昔も自然と人工の間に、パワーが出る場所を求めるのが人間なのでしょう。

#### <商品のセールスポイント>

地元で採れた安全で新鮮な食材を使った食事を基本とし、豊かな自然環境を満喫しながら美容と健康に効果的な癒しのプログラム(パワースポットめぐり、セラピー、ヨガ、農体験等)を実施。加えて、地元でも魅力的な活動をしている移住者と交流できる場を用意。また、マスコミに取り上げられ、人気の古民家を使ったカフェやパン屋さんにも立ち寄り、移住体験や田舎での仕事の成功の秘訣などの話を伺う。いすみの魅力ある「自然環境・食・人・ライフスタイル」の紹介を通して、参加者の移住促進を図り、地域活性化をねらいとしています。当NPOでは、この後、① 農的田舎暮らし体感ツアー・11月20日(土)日帰り、② いすみで子育てツアー・12月21日(火)日帰り、③ 農的田舎暮らし体感ツアー・2月26日(土)~27日(日)1泊2日、の3つを「ようこそ！農村へ」キャンペーンとして実施を予定しています。

#### オーラソーマのセラピーを行う北澤蓉子さんも移住者



最初の移住者の話を伺うのは、11年前に移住し自主保育サークルを立ち上げたり、子供の劇団を指導するなど多忙な毎日を送っている北澤さん。移住の話をついつつ、古民家を改修した「おひさまのいえ」で、オーラソーマのセラピーのデモンストレーションを披露してくれました。

#### オーラソーマとはカラーセラピー

色と香りのついた油と水が上下2層に分かれて入っている四角いボトルでセラピーを行う。ボトルの中から、直感で4本のボトルを順に選ぶ。選んだボトルとその順序により自分の精神状態を診断し、自己を顧み、あるいは悩みに対する答えを得る。上層の色は表層意識を、下層の色は潜在意識を表すとされています。

#### 移住者との交流会

女性を対象とした田舎暮らし・移住体験ツアーの最大の目的は、移



住に関心をもつ女性が知りたいことを適切に情報提供することです。本ツアーでは、すでに移住していすみライフを楽しんでいる4人との交流会をこの7月にオープンしたこじれたカフェで行いました。六本木美容室が経営するカフェ909は民宿を改装して、美容室、カフェ、ギャラリーとして運営。ハワイから上陸したアサイーという奇跡の果物と地元産のフルーツを使ったアサイーボールを食べながら移住への情報を交換しました。



### 早朝のヨガ体験

2日目の朝は、お楽しみのヨガ体験。インストラクターは、地元いすみ出身の海老原香織さん。千葉市と行ったり来たりの生活。たっぷり50分ほどヨガを行う。清々しい空気の中、有酸素運動のヨガで心肺機能を全開にしてカラダを動かします。太陽礼拝の月の礼拝のポーズをみっちり行いました。ヨガの後の朝食がおいしく、鯛の丸焼きをおかずに、いすみ米のごはんを4杯いただきました。



**移住後の住まい見学**  
ヨガ体験後、朝食までの時間を利用して、今回の旅行のプランナーで自身も1年ほ

ど前に移住した大花慶子さんの自宅を見せていただくことになりました。海岸近くの自宅まで歩いて5分。借家を拝見して、いすみライフスタイルがよりイメージされました。

### 五平山農園



ほたるの里で有名な山田にある藤江信一郎さんの農園では、ブルーベリー農園の見学とイチジクの摘み取り体験を行いました。藤江さんは農園体験をしながら宿泊する農林漁業体験民宿の「コテージ山田」を経営しており、農村の風景のなかで一棟貸のコテージが利用できます。



イチジクは、摘み取ったら追熟しないので、その場で食べられる甘さは格別。女性の美容に大変良い果物だそうです。

### パン屋タルマーリー



古民家を改造した天然酵母のパン屋さんです。

いすみ市産無農薬の小麦と天然酵母にこだわり、

この日もパンを求めてたくさんの方がひっきりなしに訪問していました。田舎暮らしをするために、手に職をとご主人は天然酵母といえばルヴァンというくらい有名なパン屋さんで修行、奥さんはジャム屋さんの修行をして開業。

**ツアーの参加者からの前評判も高く、こだわりのパンを買いたいということ**で、立ち寄りしました。この古民家は当時お化け屋敷と呼ばれるほど、竹で覆われていたのを数カ月かけて整備。金土日の3日間しか営業しませんが、仕込みに夜遅くから朝早くまでかかり3日間は重労働。でも営業しない日には田舎暮らしの醍醐味を楽しんでいるということです。

### マクロビオティック

タルマーリーのすぐ近くに、マクロビオティック料理研究家である中島デコさんが経営するブラウンスフィールドがあります。女性誌などでマクロビオティック特集が組まれ、各地で講演会も増えていますが、農山漁村に自ら移住し自給自足の農産物を使った料理を提供する中島デコさんを訪ねて多くの都市生活者がブラウンスフィールドにやってきます。

中島デコさんの元で研修をする若者も多く、農山漁村のコミュニティービジネスの事例としても注目です。



みの可能性を拓いたといっても過言ではないでしょう。タルマーリーと同様にこちらも週3日の営業です。食へのこだわり。農作物を作るこだわり。調理し提供するこだわり。食べるこだわり。中島デコさんのお話を伺って、食べることから遡って、料理するこだわりを経て、自ら農産物を作るこだわりに至るまで、都心でなく農村での暮らしの仕

古民家を改造した店内は、お客さんでいっぱい。中島さんも1年前に当地に移住。北澤さんと友人でもある中島デコさん等、移住先進者がいす

事の作り方という面でも新しいライフスタイルだと思いました。

宿泊可能なツリーハウスもあり、農村でのおいしく健康的な食事と緑のなかでの休養は、都市と農村の交流の境界の敷居を低くする役割を担っています。

さて、今回のいすみ体験ツアーの最大の特徴は人にあること、その人を通じて、いすみの魅力にふれ、いすみの隠れた魅力を発見し再度訪れる機運を作り、最終的ないすみ住民への道筋をつくらうとするものでありました。

田舎暮らしもグリーン・ツーリズムも手段であって、本来の目的は地域の活性化です。その活性化のためには、移住した人たちの知識、経験、人脈、活力を最大限に活かすこと。活力をもたらすためのコミュニティービジネス、農村企業を実現・支援をしていこうというのが「いすみ市の戦略」なのだと思います。



### いすみ暮らしサロン

最初にオリエンテーションを受けたいすみ市役所岬庁舎内に戻り感想を述べるアンケートに回答してツアーは終了です。この事務所は移住相談案内所「いすみ暮らしサロン」として、いすみ市役所とNPOいすみライフスタイル研究所がいすみへの田舎暮らし等の移住を考えている人への情報発信と相談を行っています。

いすみへの移住に興味のある方は下記のサイトをご覧ください。

<http://www.uji-isumi.com/index.html>

いすみ暮らしサロンは、下記を参照ください。

<http://www.uji-isumi.com/salon.html>

今回の優秀賞に選定されたGT商品を企画した大花さん。彼女自身のいすみへの移住のきっかけも田舎暮らし体験ツアーでした。自身の経験から田舎暮らし、新しいライフスタイルの実現等、女性の農山漁村への関心が高いことを十二分知っていることから、女性限定の田舎暮らしに向けた体験ツアーを企画。1年程度移住の体験・考えを活かしてできたツアーは、これまでの田舎暮らしとは全く違うコンセプト、内容であり大変驚くと共に、都市と農山漁村の交流に移住者、特に女性の活躍が極めて効果的であると実証されました。参加者の評価も上々で、通常の旅行では得られない感動、情報が得られたということでした。

当NPOでは、この後、**①農的田舎暮らし体感ツアー・11月20日(土)日帰り、②いすみで子育てツアー・12月21日(火)日帰り、③農的田舎暮らし体感ツアー・2月26日(土)~27日(日)3つを「ようこそ!農村へ」キャンペーンとして実施を予定しています。**

NPOいすみライフスタイル研究所

<http://www.isumi-style.com>

〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町45番地  
神田金子ビル5階(財)都市農山漁村交流活性化機構  
内 オーライ!ニッポン会議 TEL03-4335-1985